



センターに咲く小さな花たち

気温 40℃ 越えの過酷な暑さの時もありましたが、長い夏休みもあっという間に終わってしまいました。先生方におかれましては、リフレッシュして 2 学期を迎えることができましたでしょうか？

そのような中、須賀川市教育研修センターでは、コロナ感染対策を取りながら、「熱い！夏季セミナー」が開催されました。全部で 38 講座が開催されました。その中からいくつかの研修の様子を紹介いたします。

センター研修で充実の夏休み！ 参加者 447名！！

授業づくりセミナー 授業の質の向上を目指して 3

～学び合う子どもたちを育て学び合う学校をつくるために～

このセミナーは、学習院大学教授の秋田喜代美先生を講師に迎えての講座でした。始めに須賀川第一中学校教諭佐浦雅明先生の中学校 2 年理科「生物のからだのはたらき」の授業記録視聴から研修がスタートしました。



<秋田喜代美先生>

とても豊かで多様な考え方ができる足場が用意されていた授業でした。

自然に子どもたち自身がメンタルモデルを動作化していました。

今までは「教科書を見て、心臓の働きをおぼえなさい」という教え込みの指導でした。

理科は物があってこそ理科だと思う！

ここがジャンプの課題だったところかな？



<リフレクション>
活発な意見交流の様子！

まとめ AI、YouTube にまけない授業を創る
手作りの教材と課題、教師の思いが埋め込まれている
人の協働、問い・探求が生まれる
多様性を生かし 学習環境をデザインし
リズムやムードを長時間かけて醸成する

授業づくりセミナー 授業の質の向上を目指して 2

この講座では、埼玉大学教育学部教授の庄司康生先生を講師に迎え、午前の部は「低学年の授業づくりを考える」・午後の部は「ジャンプの課題づくりを考える」をテーマに、講義の中に随時参加者との対話を取り入れながら、参加者主体の研修が行われました。

遊び込める子は、人の話をよく聴ける、よく考える。よく考える子はよく学ぶ。集中力も育ちます。

「ジャンプの課題」は、今、全国的にも関心が高まっていて、須賀川市教育委員会が率先して取り組もうとしているのは大変素晴らしいことです。

ジャンプの課題づくりを考える

Quality & Equality

「質」 平等に

両者の同時追及

高い課題を→→ 共同的に追及

高い課題こそが子どもをつなげる

= 「分からないこと」の「探求」

→分かっている子と分からない子が分離しない

→共同の探求 (子どもの言葉でわかる)

→協力ではなく、Care でつなげる



教科等教育研修会



<英語部会>

学校で学ぶ英語が「使えない英語」と言われることをなくしたい。そのためには、ジャンプ課題を工夫し、「使える体験」「トライ&エラー」「表現を工夫する楽しさ」を積み重ねる授業を考えていきましょう。

特別活動で大事なこと
評価を忘れがちになる。できた結果ではなく自分の活動を振り返って、新たな目標をたてられるようになることが大事。広がりにつながればよい。



<特別活動部会>

このセミナーは、授業や教育活動に課題やテーマを持ち、「こんなことをしたい」と思っている先生方対象の研修でした。12の教科ごとに分かれて行われました。

2学期には、この研修をもとに授業実践を行い、成果と課題を検証していく予定です。先生方の必要感をもとにした実践に結びつく、とても有意義な研修になったのではないのでしょうか。

困難や課題を抱える子どもについて理解を深めるセミナー



<子どものつまずきの要因を多角的に見取る大切さ>

後半は客観的アセスメントをしてみましょう。児童生徒に関するチェックリストですが、診断するためのものではありません。その子の姿を見るための1つの指標となるものです。

子ども自身が自分の性格や考え方を知り、感情を上手にコントロールして生きてくための方法などを心理教育を通して学ばせていくことも大切です。問題行動が起こる前に予防的に行っていきましょう。

養護教諭セミナー



<養護教諭が行う心理教育・心理検査>

2学期スタート時は、特にていねいな健康観察を！

2学期がスタートします。これからの1週間は生徒指導上特に気をつけなければならないと言われています。学校に行きにくさを感じている子どもたちは、夏休みをきっかけとして不登校になるケースが多いからです。

また、9月1日は過去のデータでは、子どもたちが自ら命を絶ってしまう人数が最多であるため、1年間で一番気をつけなければならない日だと言われています。(全国的には9月1日が始業式が多いため)日頃からの子ども一人一人への丁寧な健康観察や言葉かけ、悩みや不安を抱える児童生徒の早期発見・対応などが大切です。

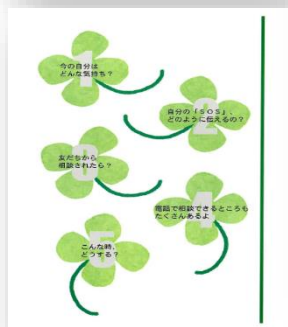
福島県教育委員会から「SOSの出し方に関する教育」の指導資料も出されています。子どもの命を守り、輝く未来を育てるのは、大人の仕事であり責任であると思います。

「こまったな」と思ったら「SOS」を出してみよう



令和2年7月 福島県教育委員会

福島県教育委員会
「SOSの出し方教育に関する資料」
より



この資料でみなさんに知ってほしいこと

今の自分の心状態をつかおう

50%未満の場合に
注意喚起を促す

50%以上の場合に
注意喚起を促す

今の自分はどんな気持ち？

晴れ
気分が晴れやかならぬ
0%~10%
気分が晴れやかならぬ
0%~10%

曇り
気分が晴れやかならぬ
10%~30%
気分が晴れやかならぬ
10%~30%

雨
気分が晴れやかならぬ
30%~50%
気分が晴れやかならぬ
30%~50%

大雨
気分が晴れやかならぬ
50%~70%
気分が晴れやかならぬ
50%~70%

こんなサインはありませんか？

気分が晴れやかならぬ
気分が晴れやかならぬ
気分が晴れやかならぬ
気分が晴れやかならぬ

